

Title	創刊の辞
Sub Title	An address to the first issue
Author	丹羽, 重光(Niwa, Shigeteru)
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	1948
Jtitle	慶應義塾大学工学部研究報告 (Proceedings of Faculty of Engineering, Keiogijuku University). Vol.1, No.1 (1948. 4) ,p.ii- ii
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001004-00010001--004">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001004-00010001--004</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 創刊の辭\*

慶應義塾大學工學部長

工學博士 丹 羽 重 光\*\*

慶應義塾大學工學部の前身なる藤原工業大學が藤原銀次郎先生によりて創立せられ、その豫科の卒業生を學部へ最初に入學せしめたのは、昭和十七年四月であつた。自來今日に至るまで、年を閲すること六年になるが、その間我工學部の教授助教授は工學部の教育並に研究施設の完成に努力し、之が略其目標を達した頃には、太平洋戦争は益々激烈となり、然かも戦勢は漸次敗色が濃くなつて、遂に校舎は戦火のために烏有に歸したのであつた。其後というものは、彼方此方に轉々と假校舎で僅かに教育と研究とをつゞけ、今尙我等は腰を落付けて勉強を爲すべき本校舎や十分なる研究設備を持たぬのである。斯かる最悪の環境に在つて、我工學部の教授助教授等は甚大なる不便を忍びつゝ出來得る限りの研究をつゞけ、相當の成績を挙げ得たものが少くない。従つて學部内に於いて之が發表機關を持ちたいとの希望が漸次高まつて來た。併し終戦後の國內情勢では、用紙獲得の不自由や印刷の不便などで新に冊子を發行することは頗る困難で、荏苒遂に今日に至つたのである。然るに今回漸く機を得て本誌を刊行するを得るに至つたことは我等の大に欣快とするところである。

我工學部は現在では僅に機械工學科、電氣工學科、應用化學科の三學科と應用物理學の講座を有するに過ぎないから、自然本誌に載せられる論文の内容も當分は之等の専門に屬するものを主とすることになるであらう。又用紙の窮乏なために發行度数も年四回の季刊と爲し、且つ毎號三十二頁に限定することを餘義なくされた。斯の如く本誌は頗る貧弱なものではあるが、之によつて工學界に幾分でも寄與することが出來れば我等の本懐とするところであり、更に又藤原先生の獨力を以て藤原工業大學を創立せられたる崇高な御理想の一端をも實現せしむるに資すると云い得るであらう。

---

\* An address to the first issue. \*\* Shigeteru Niwa, Dr. Eng. Prof. Dean of Faculty of Engineering, Keiogijuku University.